

連載

株式評論家 山本伸一の

兜町スタンダード

決算シーズン後は企業の評価余地を見抜け！



今週で3月期決算企業の第2四半期業績開示がピークを迎えた。電気機器メーカーの業績不振がクローズアップされたが、個別視点では好決算銘柄が賑わいを見せ、決算先回りスタンスやスピード勝負の決算デိုင်リングで利益を上げられた方も多かったのではないだろうか。

前回コラム「株価水準が低いほど狙いやすい決算相場」として、決算銘柄に対する傾向と対策、そして銘柄アプローチをまとめた決算先回り買いテーマ「年最後の決算相場！ 決算暴騰株をピンポイントで狙い撃ち！」のレポートを販売。提供銘柄の神東塗料（4615）、Jトラスト（8508）の2銘柄が配信翌営業日始値から10%の上昇率を記録し、目標株価達成を果たすなど、購読者からは市況分析、銘柄アプローチを高く評価していた。

そして、この決算シーズン後は業績開示によって実態評価が修正されることで、素直に「業績の良いものが買われ、悪いものが売られる」という選別物色の展開が期待されるだろう。大型株の一角に業績不振が目立った分、より評価余地のある好業績株に資金が集中するのではないだろうか。

そこで弊社では、決算シーズン後の投資戦略をまとめた「厳選5銘柄付き市況分析レポート」を発売することにした。このレポートに興味を持たれた方は、弊社に直接問い合わせしてほしい。